

第17回AMDA支援チャリティー
第12回オープントーナメント 空手の祭典 マス大山カップ

全日本極真空手道選手権大会

第1回W.K.O ジャパンアスリートカップ J. A. C予選

大会要項

- [開催日時] 平成29年12月17日(日)
- [受付] 受付AM8:30~9:20
- [開会式] 開会式AM9:30
- [会場] ZIPアリーナ(旧岡山桃太郎アリーナ) 岡山市北区いずみ町2-1-11
TEL 086-252-5201
- [試合クラス] 型競技 幼年・小学1・2年・小学3・4年
小学5・6年・中学生・高校生・一般の部
組手競技 幼年~一般の各クラス
試割り競技 中学生以上
- [ルール] 国際空手道連盟ルール・I. K. K. Oポイントルール
- [出場料] 型競技 4,000円
試割り試合 中学生以上8,000円
組手試合 全クラス6,000円
※出場料は原則として返金できません。
(2種目出場2,000円引き、3種目出場3,000円引き)
- [J. A. C予選] ※ 2018年2月12日(月)大阪エディオンアリーナにて開催。
幼年から高校生までの予選試合優勝者のみ出場権獲得。
- ※ 当日、選手受付は各道場又は支部でまとめて代表者の方にお渡しします。
※ 中学生50kg未満・高校生65kg未満・一般部は当日計量を受けてください。
- [申込方法] 申込書に必要事項を記入捺印し、出場料を同封の上、
現金書留にて大会事務局まで郵送してください。
- [申込締切] 平成29年11月11日(土)必着
- [主催] I.K.K.O国際極真空手連盟 極真會総本部
- [共催] W.K.O中国ブロック
- [後援] 月刊フルコンタクト空手
- [大会事務局] 〒700-0031 岡山市北区富町2丁目8-7
国際極真空手連盟 極真會総本部事務局
☎0120-249-086 TEL 086-801-5000 FAX 086-801-5400
ホームページ <http://kyokushinkarate.net>
メール info@kyokushinkarate.net
- 極真會総本部ホームページにて、同大会の申込書がプリント可能となっております。

2018年 ジャパンアスリートカップ

W.K.O世界組手連盟2018J. A. C 選抜指定大会 WORLD KUMITE CHAMPIONSHIP

開催日 平成30年2月12日(月・祝日)

会場 エディオンアリーナ(旧大阪府立体育館)

選抜戦

幼年から高校生までの指定クラスが全国大会の
予選になっております。

○ 本選大会の出場者は優勝者のみ

※マス大山カップでは権利獲得者が優勝した場合、準優勝者が権利獲得となります

J. A. C試合規約

- 各予選大会のルールは基本、各主催大会に委ねる。
- 本選大会は、ヘッドガードを装着しないノーヘッドガードの大会とする。
- 本選大会は、(高校生の部)のみ上段膝蹴りを有効とする。
- 試合時間 中学生まで本選1分30秒 延長1分 マスト
高校生 本選2分 延長2分 マスト
- ベスト4以降は、再延長戦」を行いマスト判定とする。
- 本選大会への申し込みの際は、戦歴(過去2年以内)を詳細に記入する。
- 体重は正確に記入してください。



WKO世界組手連盟

ジャパンアスリートカップ

J.A.C

《 認定予選大会規定 》

- ①大会出場選手総数が300名以上の規模を要する大会を認定大会とする。
- ②1ブロックにつき、認定大会は原則2大会までとする。
- ③関東ブロック、近畿ブロックは上記に該当しない。(3大会～4大会を予定)
- ④上記認定条件はあくまで原則とし、場合により例外もありうる。
- ⑤上記認定大会の決定権は、日本代表である杉原正康氏に一任する。

《 試合規約 》

- ①各予選大会のルールは基本、各主催大会に委ねるものとする。
- ②本選大会は、ヘッドガードを装着しないノーヘッドガードの大会とする。
*なお各ブロックでおこなわれますブロック予選ではヘッドガードの着用を推進致します。
- ③本選大会は、「高校生の部」のみ上段への膝蹴りを有効とする。
*試合時間、ルールともに、一般クラスと同内容にておこなう。
- ④小学一年生から小学三年生までは無差別とし、小学四年生から男女共体重別とする。
- ⑤本選大会の試合時間
- ⑥中学生まで 本戦1分30秒 → 延長1分 マスト判定
- ⑦高校生 本戦2分 → 延長2分 マスト判定
- ⑧ベスト4以降は、再延長戦をおこないそれでも決着のつかない場合はマスト判定とする。
- ⑨本選大会への出場は、1ブロックにつき2大会認定大会が開催される場合は、優勝者1名
1ブロック、1大会の場合は、優勝・準優勝の各1名づつに出場権利を与える。
- ⑩本選大会への申し込みの際は、戦歴(過去2年以内)を詳細に記入する。
- ⑪片手による押しは有効とする。

《 他 》

- ①本選大会は、大会運営費として出場費を徴収する。(出場費1名、1万円を予定)
- ②出場権を獲得した選手がやむを得ない理由で本選大会を欠場した場合、
下位選手からの繰り上げはおこなわず、ブロック推薦枠として出場選手を決定する。
- ③将来的に国際大会開催に繋げていく。
- ④役員及び審判員は道衣に羽織の服装とする。役員(黒色)、主審(赤色)、副審(紺色)
- ⑤各クラスのチャンピオン(優勝者)には、WKOオリジナルチャンピオンベルト及びメダルを贈呈する。
- ⑥12月～3月までの予選大会は本戦大会時には学年が一学年繰り上がるので注意する。
- ⑦既に権利を獲得した者が、他の予選大会に出場し優勝した場合は、準優勝者を権利獲得者とする。

《 本戦大会階級一覧 》

階級	体重		階級	体重		
小学1年男子	無差別		小学1年女子	無差別		
小学2年男子	無差別		小学2年女子	無差別		
小学3年男子	無差別		小学3年女子	無差別		
小学4年男子	30kg未満	30kg以上	小学4年女子	30kg未満	30kg以上	
小学5年男子	35kg未満	35kg以上	小学5年女子	35kg未満	35kg以上	
小学6年男子	40kg未満	40kg以上	小学6年女子	40kg未満	40kg以上	
中学1年男子	50kg未満	50kg以上	中学1年女子	40kg未満	40kg以上	
中学2年男子	55kg未満	55kg以上	中学2年女子	45kg未満	45kg以上	
中学3年男子	60kg未満	60kg以上	中学3年女子	50kg未満	50kg以上	
高校生男子	65kg未満	75kg未満	75kg以上	高校生女子	53kg未満	53kg以上

* 高校生の部は一般クラスと同じ体重区分けとする。

* なお各予選大会は各々のクラス分けで大会を開催して頂いて構いません。

試合概要

(防具) ○必須(選手が用意) ◎主催者側が用意

組手試合

(幼年・小学生は危険防止の為上段の膝蹴りを禁止します。)

	ヘッドガード	拳サポーター	脛サポーター	膝サポーター	ファールカップ	女子チェストガード	マウスガード
幼年男子	◎	○	○	自由	○	/	/
小学生1～6年男子	◎	○	○	自由	○	/	/
幼年女子	◎	○	○	自由	/	/	/
小学生1～3年女子	◎	○	○	自由	/	/	/
小学4～6年女子	◎	○	○	自由	/	○ 任意	/
中・高校生	◎	○	○	自由	○	/	自由
女子中学生以上	◎	○	○	自由	/	○	自由
ヤングマスターズ	自由	自由	自由	○	○	/	自由
マスターズ	自由	自由	自由	○	○	/	自由
一般初級	◎	○	○	自由	○	/	自由
一般上級	/	/	/	自由	○	/	自由

※幼年・小学生ソフトクラス は、主催者用意のチェストガード(軟質製)着用となります。

幼年・小学生・中学生・一般35歳以上	本戦1分30秒・延長1分・再延長1分(マスト)
高校生・女子一般・一般初級	本戦2分・延長1分30秒・再延長1分30秒(マスト)
一般上級	本戦2分・延長2分(体重判定)再延長2分(マスト) (体重判定)軽・中量級5kg以上・重量級10kg以上差有効

※参加人数・試合進行状況により変更する場合があります。

(審判員)

組手試合	主審1名	副審2名
	主審1名	副審4名

主審を含めた5名の審判員が競技の審判に当たるが、審議試合は審判長・最高審判長が協議の上再試合などを行う場合がある。

「一本」「技有り」「反則」「場外」「判定」などの場合は、5名の審判員のうち3名以上の判断で有効(3審制の場合は2名)とする。2名以下(3審制の場合は1名)及び主審のみの判断は認めない。

参加選手・父兄注意事項

1. 大会会場では、各選手とも時間を厳守し、進行係の指示に従うこと。
2. 試合中の怪我や事故については、主催者は一切責任を負いません。
3. 幼年・小学生は危険防止の為上段の膝蹴りを禁止します。
4. もし何かの理由で参加不可能になった場合は、必ず大会委員会まで連絡すること。
5. セコンドは1名とし武道空手にふさわしい品格のある応援をお願いします。
6. 選手は当日、昼食を各自で持参してください。(会場内売店有り)
7. 試合当日のテーピングに於いては大会ドクターの許可をもらってください。
8. 会場内は全て禁煙です。喫煙は指定場所をお願いします。
9. 選手は爪を短く切り、手足に何も持たないこと。
10. 頭髪の毛染め・脱色・ピアス等、大会の趣旨にふさわしくない身形をしていた場合、受付時に出場をお断りしますのでご注意ください。
11. 試合終了後はゼッケンを返却下さいます様をお願いします。
12. ゴミは各自お持ち帰り下さい。

第12回オープントーナメント 全日本極真空手道選手権大会 大会参加申込書

組手用

私議、本大会ルールに従って正々堂々と技を競い合う事をここに誓います。
万一、大会開催中に負傷及び事故等が生じても主催者に対し一切責任を問いません。

平成29年 月 日

本人名

保護者名

(成年の場合)

印

(未成年の場合)

印

ふりがな				性別
氏名				男 ・ 女
生年月日	昭和 ・ 平成	年	月	日 (満才)
ふりがな				道場責任者
所属道場				
修行年数	年	ヶ月	級・段位	級 ・ 段
現住所	〒		連絡先	
			自宅	
			携帯	
学年	幼年・小学	生	身長	cm 体重 kg
過去の大会成績(一つだけ)				
出場クラスに チェックしてください	組手試合 ※ ○はJ・A・C 予選試合となります	<input type="checkbox"/> 幼年のソフトクラス	<input type="checkbox"/> 小学5年生女子の部	<input type="checkbox"/> 女子一般の部
		<input type="checkbox"/> 小学1年生男女ソフトクラス	<input type="checkbox"/> 小学6年生女子の部	ヤングマスターズ <input type="checkbox"/> 一般35歳以上70kg未満の部
		<input type="checkbox"/> 小学2年生男女ソフトクラス	<input type="checkbox"/> 小学4年生男子上級の部	ヤングマスターズ <input type="checkbox"/> 一般35歳以上70kg以上の部
		<input type="checkbox"/> 小学3年生男女ソフトクラス	<input type="checkbox"/> 小学5年生男子上級の部	マスターズ <input type="checkbox"/> 一般40歳以上70kg未満の部
		<input type="checkbox"/> 小学1年生男女上級の部	<input type="checkbox"/> 小学6年生男子上級の部	マスターズ <input type="checkbox"/> 一般40歳以上70kg以上の部
		<input type="checkbox"/> 小学2年生男女上級の部	<input type="checkbox"/> 男子中学生50kg未満の部	<input type="checkbox"/> 一般初級70kg未満の部
		<input type="checkbox"/> 小学3年生男女上級の部	<input type="checkbox"/> 男子中学生50kg以上の部	<input type="checkbox"/> 一般初級70kg以上の部
		<input type="checkbox"/> 小学4年生男子ソフトクラス	<input type="checkbox"/> 女子中学生の部	<input type="checkbox"/> 一般上級65kg未満の部
		<input type="checkbox"/> 小学5年生男子ソフトクラス	<input type="checkbox"/> 女子高校生の部	<input type="checkbox"/> 一般上級65kg以上75kg未満の部
		<input type="checkbox"/> 小学6年生男子ソフトクラス	<input type="checkbox"/> 男子高校生65kg未満の部	<input type="checkbox"/> 一般上級75kg以上の部
<input type="checkbox"/> 小学4年生女子の部	<input type="checkbox"/> 男子高校生65kg以上の部			

※記入漏れや著しい体重申告の違いがある場合は出場を取り消すことがあります。
 ※参加人数によりクラスの増設・統合・廃止・男女別・体重別・年齢別になる場合があります。
 ※選抜クラスは体重を正確に記入してください。

第12回オープントーナメント
全日本極真空手道選手権大会
大会参加申込書

型 用

私議、本大会ルールに従って正々堂々と技を競い合う事をここに誓います。
万一、大会開催中に負傷及び事故等が生じても主催者に対し一切責任を問いません。

平成29年 月 日

本人名

(成年の場合)

印

保護者名

(未成年の場合)

印

ふりがな				性別
氏名				男 ・ 女
生年月日	昭和 ・ 平成	年	月	日 (満 才)
ふりがな				道場責任者
所属道場				
修行年数	年	ヶ月	級・段位	級・段
現住所	〒		連絡先	
			自宅	
			携帯	
学年	幼年・小学	生	身長	cm 体重 kg
過去の大会成績(一つだけ)				

幼年の部 太極その1 (指定型)

出場クラスにチェックしてください	型試合	小学1・2年生の部
		平安その1 (指定型)
		小学3・4年生の部
		平安その2 (指定型)
		小学5・6年生の部
		平安その5 (指定型)
		中学・高校生の部
		突きの型 (指定型)
		一般の部
		征遠鎮 (指定型)

※記入漏れや著しい体重申告の違いがある場合は出場を取り消すことがあります。
※参加人数によりクラスの増設・統合・廃止・男女別・体重別・年齢別になる場合があります。

第12回オープントーナメント 全日本極真空手道選手権大会 大会参加申込書

試割り用

私議、本大会ルールに従って正々堂々と技を競い合う事をここに誓います。
万一、大会開催中に負傷及び事故等が生じても主催者に対し一切責任を問いません。

平成29年 月 日

本人名
(成年の場合) 印

保護者名
(未成年の場合) 印

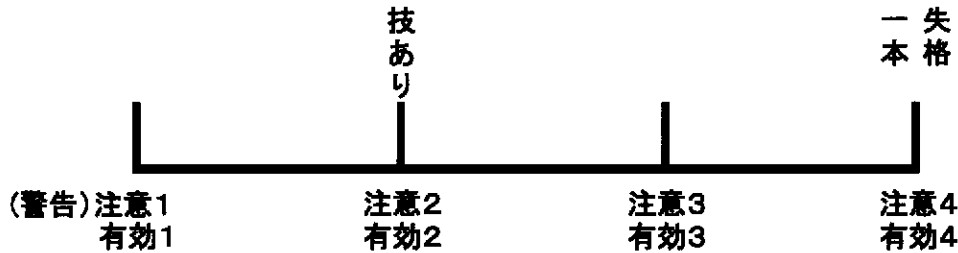
ふりがな				性別		
氏名				男	・	女
生年月日	昭和・平成	年	月	日	(満	才)
ふりがな				道場責任者		
所属道場						
修行年数		年	ヶ月	級・段位	級・段	
現住所	〒			連絡先		
				自宅		
				携帯		
学年	幼年・小学	生	身長	cm	体重	kg
過去の大会成績(一つだけ)						

出場クラスにチェックしてください	試割り試合	中学生
		高校生
		一般の部
		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(45deg);"></div>

※記入漏れや著しい体重申告の違いがある場合は出場を取り消すことがあります。
※参加人数によりクラスの増設・統合・廃止・男女別・体重別・年齢別になる場合があります。

国際空手道連盟 ポイントルール

※ 初級のみ チェストガード着用(主催側用意)



(警告)

- ・主審が単独で取ることができます。
- ・警告は次に反則をしないようにながすもので、ポイントには関係ありません。

(注意)

- ・顔面への突きがあった時は、即注意1となります。
- ・警告をもらいながら 掴み・押し などの反則を繰り返したとき。

(有効)

- ・上段への蹴りが入った時は、強弱関係なく有効となります。
- ・中段へ強く腰の入った 突き・蹴り が入ったとき。
- ・ノーガードの状態 で 突き・蹴りの連打が入ったとき。
- ・足掛け下段突きを決めたとき。
- ・前蹴り等が入って腰から落ちたとき。

(技あり)

- ・突き 蹴りをもらって瞬間ダメージがあったとき。

(一本)

- ・突き 蹴りをもらってダメージが3秒以上あったとき又はダウンしたとき。

* 上級の部は通常国際空手道連盟ルールで行います。

国際極真空手道連盟 極真会館 極真會

型 競 技

□ 競技の進め方

- (1) ベスト4まで指定型によるトーナメント方式。
- (2) 準決勝より各流派自由型による採点方式。
- (3) 審判は5審制とし、大会規模により3審制でもよしとする。

□ 勝敗の決し方

5人の審判がそれぞれ10点満点で採点する。5人の内最高点と最低点を除いた3名の合計点で順位を決する。

3審制の場合は、3人の合計で決する。

同点の場合は次の順で決する。

- ① 最低点が高い方が順位が上となる。
- ② 最高点が高い方が順位が上となる。
- ③ 主審の得点が高い方が順位が上となる。
- ④ 2人同時に演武を行い、赤白判定で決する。

□ 採点基準

- (1) 6点を基準点として、減点法・加点法の併用により4点まで減加点することができ10点満点で競う。

減点・加点の基準は次の通りとする。

動作の正確さ	① 立ち方・突き・蹴り・打ち・受けのそれぞれの技が正確であること。 ② 中間動作が適切であり、ムダな動きがないこと。 ③ 重心の移動やバランスに優れていること。
技の暖急	① 早く動くべきところが早く動けること。 ② 穏やかに動くべきところが穏やかに動けること。 ③ 連続動作が用法に即したリズムで動けていること。
力の強弱	① 力の入れるべき所に適当な力が入っていること。 ② 力を抜くべき所で力が抜けていること。 ③ 技の威力が表現できていること。
息の調整	① 息吹や気合が適切にできているか。 ② 呼吸の乱れがなく動作との調和が図れているか。

- (2) 上記の各項目について、各1点ずつの配転があり、0.25点単位で四段階

(0.25 0.50 0.75 1.00)で減点又は加点を行う事ができる。

- (3) 上記の他に次の項目で減点又は失格とすることがあります。

減点又は失格項目

- ① 指定型名と実際の演武型が異なる場合（失格）
- ② 演武開始時、選手が言う型名と実際の演武型が異なる場合（失格）
- ③ 試合場から両足が出てしまった場合（失格）
- ④ 試合場から片足が出てしまった場合（減点）
（線を踏む 0.25 減・足が出る 0.5 減）
- ⑤ 型の演武を中断した場合は（失格）。一時的な中断の場合は、主催者の判断で協議の上、1.00以下の（減点）
- ⑥ 型の動作をとばしてしまった場合（2.00以下の減点又は失格）
- ⑦ その他主審が判断し、合議の上判断する。
- ⑧ 判断に迷う場合は、型競技審判長の裁可のに従う。

□ 競技の進行

- (1) 選手は、呼名されたら礼をして試合場に入り演武開始場所に立つ。
- (2) 主審の「正面に礼」の号令で礼をする。
- (3) 主審が右手を高く上げたのを合図に型を開始する。
- (4) 型を開始する祭は、黙想をし、大きな声でゆっくりと正確に型名を言うから息吹して開始する。（型名を申告する際、絶叫はしない。型名がとれなかった場合は失格とする。）よけいな号令は一切かけてはならない。
- (5) 型が終了したら自分でなおり主審の号令を待つ。
- (6) 主審の「判定お願いします。判定。」の号令で全員が一斉に得点盤をあげる。その時、副審は組手と同じように一斉に笛を吹く。
- (7) アナウンスが主審から順に得点を読み上げ、最後に「只今の合計〇〇」と発表する。
- (8) 主審の「正面に礼」の号令で選手は礼をして退場する。

試割り試合規定

○試割りの材料は(29.5cm×20cm厚さ1.8cm)の杉板を使用する。

○選手は(1)正拳 (2)足刀 (3)手刀 (4)猿臂(肘) の順に4種目の割った合計枚数で競う。
合計枚数が同じ場合は少しでも体重の少ない者の勝ちとする。

○試割り規定枚数

□ 3枚とする。

○第1回目の試技の枚数について、規定枚数以上であれば何枚でも指定できる。
指定した枚数が1回の試技で割れない場合は「失敗」とし得点にならない。

○第2回目の試技は規定枚数とし再度失敗した場合は得点を0点とする。

○試割りは固定したブロックを台として、所定の位置で行う。
ブロック台は審判員、進行係の許可がない限り、動かすことはできない。

○選手は試割りに当たって、ブロックの台、板には一切触れてはならない。
板の上に審判員審査を受けた薄い布(手拭、タオル等)を審判員が敷くことはできる。

○試割りは、審判員の指示で行う。制限時間は2分とし、それを超えると「失敗」と見なす。

○試割りは、主審を含め5名の審判員が試合場にかかる。
試割りの板は、試合場下の審判員が用意する。

○主審は選手が所定の位置に並んだら、前方と後方に「礼」をさせる。

○試割りの試技が終了したら、審判は「成功」した選手を座らせた上、ゼッケン番号順に「何番、何枚、成功」。
失敗の場合は「何番、失敗」とコールする。失敗した選手は座らない。

○失敗した選手が再度試みる場合も同様とする。

○試割りが終了したら、全選手を立ち上がらせ、最初と同様に「礼」をさせた上で退場させる。